

## 国会運営費、一日あたり4億7180万円

— 国民の代表である国会議員は、心して  
自らの本分に従事していただきたい

国会の運営状況が暗礁に乗り上げている。政府が推進する国会の目玉であった「働き方改革関連法案」の判断根拠となるはずだった厚労省の裁量労働制に関する残業関連データが不適切であったことから始まり、一旦収まったかと思われた森友学園問題の財務省の公式文書の改ざん問題、加計学園の柳瀬元総理秘書官の総理案件問題、さらには財務省の事務方トップの福田事務次官のセクハラ問題と、次々と問題が発覚している。これによる野党の審議拒否が続き、議会への出席を拒否するという事態が長引いている。(本稿執筆時点)

働き方改革関連法案はもちろんのこと、急展開を迎えた北朝鮮問題をはじめ国内外において懸案事項が山積みの時期に国会が正常に運営されていない事態が続いているわけである。

こういう場合、よく指摘されるのが「国会の一日当たりの運営費は3億円かかっている」という指摘である。その算出根拠は、「国会所管一般会計歳出予算各目明細書」に記載されている衆議院と参議院、それに国会図書館の運営費の総計を365で割った数字であるとされている。

実際に平成29年度のデータを見ると、

衆議院：737億8565.5万円、

参議院：442億1028.1万円、

国会図書館：222億1319.9万円となっている。

合計：1402億913.5万円であり、365で割ると

一日あたり：3億8413万4616円となる。

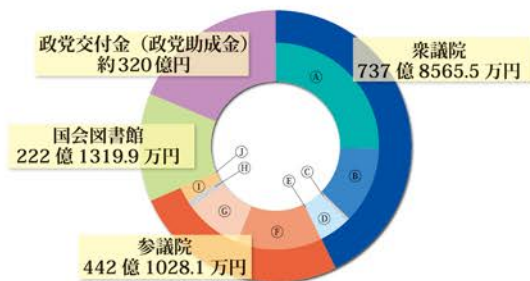
しかし、これだけではない。この他にも政党交付金（政党助成金）が、国民1人当たり年間250円、総額約320億円が税金から各政党に支給されており、これを365で割ると一日あたり8767万1233円となる。

一般会計歳出予算と政党交付金の合計は、一日あたり4億7180万5849円となる。

以前（2017年11月号）紹介した、日本の医療費は一日1100億円弱と比べれば微々たる数字に見えるかもしれないが、5億円近い金額となると中小企業の年間売上よりも多いケースになる。

国民の代表として選出された国会議員の皆さんの本分は、立法府である国会において、法案を審議し法律を制定していくことであるはず。心して自らの本分に従事していただきたいと思う。

## 一年間の国会運営費 約 1722 億 913.5 万円



一年間の国会運営費約 1722 億 993 万円を  
365 で割ると、一日あたり 4 億 7,180 万円となる

<衆議院内訳>

①国会の権能行使に必要な経費 440 億 2542.1 万円

②衆議院の運営に必要な経費 205 億 7182.9 万円

③衆議院施設整備に必要な経費 10 億 9474.2 万円

④民間資金等を活用した衆議院施設整備に必要な経費 80 億 8666.3 万円

⑤国会予備金に必要な経費 700 万円

<参議院内訳>

⑥国会の権能行使に必要な経費 229 億 8780.4 万円

⑦参議院の運営に必要な経費 154 億 5927 万円

⑧参議院施設整備に必要な経費 14 億 8977 万円

⑨民間資金等を活用した参議院施設整備に必要な経費 42 億 6843.7 万円

⑩国会予備金に必要な経費 500 万円

■参考資料

平成29年度 各目明細書の公表について - 衆議院

[http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb\\_annai.nsf/html/static/osirase/kaikai-kakumoku29.html](http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_annai.nsf/html/static/osirase/kaikai-kakumoku29.html)

国会所管 一般会計歳出予算各目明細書 - 参議院

<http://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/oshirase/pdf/h29yosan-meisai.pdf>

臨時国会の1日あたり費用 議員1人で20万円、合計4億円

[http://www.news-postseven.com/archives/20101025\\_4295.html](http://www.news-postseven.com/archives/20101025_4295.html)

おぎの稔 (日本維新の会大田区議会議員) ブログ

<https://ameblo.jp/ba7-777/entry-12364048210.html>



## 美楽からの一言

国会におけるスキャンダルや揚げ足取りのような議論を国民は望んでいないわけではない。与野党ともに真剣に様々な国難を見据え、本質的かつ前進的な議論が交わされる場を作ってほしいモノである。